

Courage

終業式まで、あと3日！
学年末テまで、あと8日！
卒業まで、あと44日！

第141号 平成28年12月19日

★「寛容」であること

予告してあった、いじめ防止標語コンテストの第二弾です。ご紹介します。

- ・いやがらせ 人の心を 傷つける
- ・「やめようよ！！」その言葉を 僕は 私は ずっと待っている
- ・軽く言ったつमोりの言葉が相手を傷つけるかもしれない。考えてみよう。相手の気持ち。
- ・いじめだめ 色んな人を きずつける ・ひとりより みんなであそぶの たのしいよ
- ・「いじめダメ」まずは自分の 言葉から ・助けてと 言えないわたし だれのせい？
- ・いいのかな ほんとにそれは いいのかな ・なにげない 行動すべて いじめのもと
- ・いじめとか していいことは なにもない



皆の標語には様々な思いが込められており、私自身考えさせられました。「いじめ」は現在にはじまった問題ではなく、学校や社会にずっと昔から残っている大きな問題です。いじめを「良いこと」だと思っている人は誰もいません。でも、なかなか、無くならないのです。

誰かが気づけば、もしくは誰かが「寛容(かんよう)」になれば、いじめは減っていきます。「寛容」とは、他人の考えをよく受け入れるような、また、人の失敗をとがめないで許したりするような、心の広さがあることを言います。

今、日本全体が「不寛容」な社会であると言われることがあります。他人の行動で相容れないところや、理解できない部分があると、それを完全に拒絶したり、攻撃したりする風潮のことです。

確かに、一般的に受け入れがたい考え方や、行動をする人たちが目立ったとき、それを受け入れたり、許容したりするのは難しいことです。

しかし、必要以上に攻撃をすることもないのではないのでしょうか。人間、様々な人がいます。十人十色という言葉もあります(3Cの級訓も「39Color」ですね!)。「何かがおかしいな」と感じたときに、すぐにそれを拒絶したり攻撃したりするのではなく、一度、グッと受け止めてみてください。「寛容」になってみてください。誰かが(あなたかもしれない)、少し、楽に生きることができるようになるかもしれません。

12月20日(火)の予定

1限 国語 2限 英語 3限 英語 4限 社会 5限 マナー講座 6限 音楽

連絡: ○マナー講座があります。服装(特に靴下・インナー・爪・髪型等に注意!)は入試に行くときと同様の格好をしてください。それを見てもらしましょう。

○出席番号1~20の人はICTルームか生徒会室、21~39の人は教室で行います。

教室の机は全て下げておき、いすを20脚黒板の前に2列で並べてください。名簿順に着席。

宿題: ○冬の課題をどんどん進める。日記は冬休みまで、お休みとします。

○カレンダー、忘れた人は、1日遅れた分かなり丁寧に仕上げ、明日必ず室長に提出すること。